

報道関係者各位

2014年10月1日

アセンテック株式会社

アセンテック、先進ストレージシステム「Nimble Storage」 I/O 性能が大幅に向上了した新モデル“CS300” “CS500”販売開始 ハードウェアアーキテクチャを一新し、I/O 性能 50%以上アップ

アセンテック株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:佐藤 直浩)は、昨年代理店契約締結を発表した Nimble Storage(ニンブル・ストレージ)社 (Nimble Storage, Inc. 本社:米サンノゼ)のストレージシステム「Nimble Storage」の新モデルである CS300、CS500 を本日より販売開始します。

CS300、CS500 はハードウェアアーキテクチャを一新した新モデルであり、大幅にパフォーマンスが向上しました。CS300 は、販売終了となる CS200 シリーズと比較し、約 70%あまり、I/O 性能が向上し、CS500 は同様に CS400 シリーズと比較し、約 50%あまり、I/O 性能が向上しました。これにより、CS300 は約 30,000IOPS、CS500 は約 90,000IOPS と、非常に高いパフォーマンスを発揮することが可能となりました。これに加え、10Gbase-T の iSCSI インターフェイスが選択可能となり、インターフェイス対応の柔軟性が向上しました。またこの 2 モデルに加え、10Gb インターフェイスにも対応したエントリーモデルとなる CS215 も新たにラインナップに追加となりました。

■今回の Nimble 新モデルについて

○Nimble CS300

- CS200 シリーズの上位互換。CS200 シリーズに比べて I/O 性能約 70%UP
- 價格性能比の高いスタンダードモデル
- 10Gb(10GbE(SFP+), 10Gbase-T)iSCSI のインターフェイス対応

○Nimble CS500

- CS400 シリーズの上位互換。CS400 シリーズに比べて I/O 性能約 50%UP
- 90,000IOPS 程度を要求する高い I/O 負荷システムに最適
- 10Gb(10GbE(SFP+), 10Gbase-T)iSCSI のインターフェイス対応

○Nimble CS215

- CS220 ベースのバリューアレイ
- CS220 と同性能のエントリーモデル
- 10Gb(10GbE(SFP+), 10Gbase-T)iSCSI のインターフェイス対応

○今回のリリースについて

http://www.ascentech.co.jp/news/press/pr141001_01.html

○NimbleStorage について

<http://www.ascentech.co.jp/solution/nimblestorage/nimblestorage.html>

■Nimble Storage CS300、CS500、CS215 の出荷について

出荷開始:2014年10月1日

販売経路:パートナーであるシステムインテグレータ経由

価格:オンラインサポートサービス含めて、アセンテックもしくはリセラーより、お見積いたします。

※スナップショット、レプリケーションなどに必要なすべてのソフトウェア機能を、追加ライセンス費用なしで利用できます。



■Nimble Storage 全製品仕様

ニンブルストレージ CS シリーズ	CS210	CS215	CS300	CS500	CS700
ディスク容量—基本 (TB) ^{※1}	8	12	12 24 36	12 24 36	12 24 36
実効容量—基本 (TB) ^{※1}	4 - 8	8 - 16	8 - 16 16 - 32 25 - 50	8 - 16 16 - 32 25 - 50	8 - 16 16 - 32 25 - 50
実効容量—拡張時 (TB) ^{※1,2}	36-76	42-84	110-220 118-236 127-254	110-220 118-236 127-254	110-220 118-236 127-254
ディスク拡張筐体数 (最大)	1			3	
基本筐体の最大フラッシュ容量 (GB) ^{※3}	160/320/640	320/640/1,200	640/1,200/2,400/3,200	2,400/3,200	3,200
オールフラッシュ筐体接続時の最大フラッシュ容量 (GB) ^{※3}	N/A			16,000	
ネットワーク接続 / コントローラー	標準装備: 1GbEx4ポート	標準装備: 1GbE x 2ポート ネットワークカード: 以下より選択 1GbE x 4ポート 10GbE SFP+ x 2ポート 10GbE SFP+ x 4ポート 10GbBaseT x 2ポート 10GbBaseT x 4ポート		標準装備: 1GbE x 2ポート ネットワークカード: 以下より選択 1GbE x 4ポート 10GbE SFP+ x 2ポート 10GbE SFP+ x 4ポート 10GbBaseT x 2ポート 10GbBaseT x 4ポート	標準装備: 1GbE x 2ポート ネットワークカード: 以下より選択 10GbE SFP+ x 2ポート 10GbE SFP+ x 4ポート 10GbBaseT x 2ポート 10GbBaseT x 4ポート
サポートプロトコル			iSCSI		
SAS 接続 / コントローラー	6Gb SAS x 1 ポート			6Gb SAS x 2 ポート	
本体質量 (最大)			34kg		
消費電力(通常時) Watt	450W	500W	500W	600W	650W

	ディスク容量拡張筐体			オールフラッシュ筐体 ES1-AFS
	ES1-H25	ES1-H45	ES1-H65	
ディスク容量 (TB) ^{※1}	15	30	45	N/A
実効容量 (TB) ^{※1}	11 - 27.5	23 - 57.5	34 - 84	N/A
フラッシュ容量 (GB) ^{※3}	160	300	600	3,200/6,400/9,600/12,800
SAS 接続 / コントローラー		6Gb SAS x 2 ポート		
本体質量 (最大)		34kg		25kg
消費電力(通常時) Watt		400W		200W

※1 ディスク容量、実効容量は、バリティベース、スペア システムオーバーヘッドを除いた後、1TB=1,000,000,000,000 バイトを使用して計算しています。実効容量は圧縮率1倍～2.5倍の値を用いて計算しています。

※2 最大容量は、最大数の拡張筐体を接続した場合の合計容量です。

※3 フラッシュ容量は 1GB=1,000,000,000 バイトを使用して計算しています。

■Nimble ストレージイノベーション セミナーについて

今回発表のCS300,CS500について、いち早く詳細に解説し、性能デモをご覧いただけるセミナーを、10月7日(火)に実施します。ぜひご来場ください。

日時:2014年10月7日(火)14:00-17:00(13:30受付開始)

場所:アキバプラザ 7F アセンテック VDIイノベーションセンター (JR秋葉原駅徒歩2分)

お申し込みは[こちら](https://www.ascentech.co.jp/event/ev_index.html#141007):

◆ストレージシステムの課題と「Nimble Storage」のソリューション

「Nimble Storage」は、フラッシュメモリ(SSD)とハードディスク(HDD)を組み合わせたストレージで、従来のティアリング(階層化)の概念を持たず、独自の特許技術「CASL(キャッスル):Cache Accelerated Sequential Layout」により、圧縮しながら効率的にディスクへ書き込みをおこない、フラッシュメモリ(SSD)をリードキャッシュとして利用することによりアプリケーションのスループット要求を満たす高いパフォーマンスを実現します。

この「Nimble Storage」は、ディスクあたりの IOPS が他社と比較して 10-15 倍となり(Microsoft Exchange 2010 solution reviewed program(ESRP)-Storage v3.0 Benchmark の結果)、極めて高いパフォーマンスであり、IOPS あたりのコスト効率は非常に高くなっています。そして、パフォーマンスに応じ段階的に拡張可能、初期ライセンス、追加ライセンスも不要であり、高速性と効率性を両立したストレージであり、企業におけるさまざまなストレージ課題を解決するソリューションです。特に VDI 環境におけるストレージインフラとして、その高い IOPS とコスト効率で大きな変革をもたらします。

■Nimble Storage(ニンブル・ストレージ)社について

<http://www.nimblestorage.com/>

Nimble Storage, Inc.(本社:米サンノゼ、設立:2010 年)は、フラッシュの高いパフォーマンスと、ハードディスクの優れたコスト性と容量という、それぞれの優位性を最大限に活用しうるよう独自のストレージ・アーキテクチャにより設計された「Nimble Storage」で、データストレージ市場を変革してきました。「Nimble Storage」は、2010 年の提供開始以来、さまざまな賞を獲得し、グローバル市場において、TCO の削減や、リカバリタイム目標(RTO) やリカバリポイント目標(RPO) の向上、さらに、データマネジメントにおける機能性向上といったメリットを提供し続けています。

■アセンテック株式会社について

<http://www.ascentech.co.jp/>

アセンテック株式会社は、世界の VDI 市場をリードする Citrix 社および、米国を始め各国で高いシェアを誇る Dell Wyse 製品の 1 次代理店です。これと同時に、USB キー 1 本で簡単シンクライアント化を実現するアセンテック自社開発製品「Resalio Lynx Smart」、VDI 環境における印刷課題を解決する「ThinPrint」などを取り扱い、仮想化インフラの設計、構築も含め、「VDI トータルソリューション」カンパニーとしてお客様に付加価値の高いソリューションを提供しています。また、ストレージ領域においても、グローバルで高い支持を集めている“ハイブリッドストレージソリューション”Nimble Storage や、Microsoft の『クラウド統合ストレージ』ソリューション StorSimple を提供し、拡大し続けるストレージ市場にも柔軟に対応しています。

＜お問合わせ先＞

アセンテック株式会社

広報担当:岩崎

TEL:03-5298-1552 E-mail:pr@ascentech.co.jp

*文中に記載している社名・商品名は各社の商標または登録商標です。